

市議会だより

12月定例会



横浜 DeNA ベイスターズの日本一を議員・当局全員で牧選手のデスターシャポーズで祝福（12月定例会初日）

主な掲載内容

- ◎政策提言について 2
- ◎一般質問 3~10
- ◎12月定例会主な議案審議内容 11
- ◎所管事務調査について 11
- ◎議決結果一覧 12

スマートフォンで読み取って
活用してください。



市議会
ホームページ

市長より回答を受理



市長より回答書を受理する正・副議長及び各委員長

本市議会において、議会基本条例第10条に基づき、本市議会9回目となる「議会報告及び市民との意見交換会」を実施しました。その結果、99件の市政等に関するさまざまな御意見、御要望を頂き、市議会として調査、協議を行った上で10月3日、市長へ政策提言（以下記載の2件）及び申し送りいたしました。そして、12月5日、政策提言に対する回答書を受理しました（下記参照）。今回の提言事項につきましては、引き続き当局の対応を注視してまいります。

政策提言に対する市長からの回答書（要旨）

1. 住宅防音事業の補助対象地域等の拡大について

【提言】

市街地のど真ん中に米軍普天間飛行場が存在し、同飛行場を離発着する航空機等の激しい騒音により、市民生活に大きな支障を来している実情を踏まえ、国に対し、住宅防音工事の対象となる環境基準値の引き下げや住宅築年数条件を拡充し、補助対象地域が拡大されるよう要請していただきたい。

【回答】

米軍機による騒音被害につきましては、市内8カ所の騒音測定機による測定結果や市に寄せられる苦情等を通して状況把握し、沖縄防衛局をはじめとする関係機関に直接、抗議・要請を行っております。また、併せて沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会（軍転協）の取り組みとして、毎年政府に対し、住宅防音工事対象区域の拡大及び築年数条件の拡充を、中部市町村会の取り組みとして、令和3年12月に沖縄防衛局長に対し、住宅防音工事対象の拡大をそれぞれ要請しているところであります。

しかしながら、夜間騒音は増加傾向にあるなど、市民の負担はすでに限界を超えたものとなっております。

騒音被害の軽減に向け、引き続き住宅防音工事対象区域の拡大など、要件の見直しや、航空機騒音規制措置の厳格な運用を要請して行くとともに、抜本的解決に向け、市民の強い願いである普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還と、速やかな運用停止をはじめとする危険性除去及び基地負担軽減の早急な実現を粘り強く求めてまいります。

2. 私道整備について

【提言】

本市には、生活道路として利用されている私道が多く存在するが、老朽化等で修繕が必要となっている私道も多い。私道の整備に関しては、多くの利用者がいる現状の中、所有者負担による整備が難しいことから、市による整備の実施や、補助の要望が多く寄せられている。

他自治体の事例も踏まえ、また、整備を通して最も恩恵を受けるのは地域住民ではなく、交通利用者と予想されることから、要請元の主体を誰とするのかも精査した上で、私道の整備に対する助成を実施いただきたい。

【回答】

私道の整備に対する助成につきましては、地域住民の皆様のお困りの実情に鑑み、取り組みを実施している市町村の状況も確認しながら調査研究し、関係部署と協議調整を行い、次年度より実施できるよう取り組んでまいります。

★市議会ホームページから
詳細をご覧ください。



一般質問

今定例会は、23名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。

市の様々な課題等について、議員が提言も含めて市に考えを聞く『一般質問』。各議員それぞれの切り口で市政を問います。



議会中継はこちらから



議会会議録はこちらから



各議員の記事から一般質問の録画映像がご覧いただけます。(スマートフォンで読み取りください。)

【防災】市公共施設のAED設置及び三角巾配備状況について

その他の主な質問

◎ AEDを小中学校校休日でも使用可能な場所に設置するについて
◎ 市道宜野湾十一号への歩行者用夜間照明の整備について

◎ **議員** AEDの設置状況を伺う。
◎ **総務部長** 市長部局所管施設に二十台、教育委員会所管施設に三十九台、消防施設に三台、各自治会事務所に二十三台、合計八十五台設置している。
◎ **議員** AED設置に伴う三角巾の配備状況を伺う。
◎ **総務部長** 今年一月に市庁舎本館ロビーに三角巾と女性に配慮したAEDの使い方のチラシと一緒に配備している。市民会館、市民図書館、消防本部及び各出張所、赤道児童センター、長田児童館の計七カ所に配備を確認している。
◎ **議員** 三角巾の配備状況を確認したのは、特にAEDを使用する場合、女性が倒れているところに男性が来たり、女性が来たりして蘇生処置を行うが、そのとき周りには群衆が来ているものと思われる。そのなか三角巾でカバーすることで女性にしっかりと配慮でき、骨折していた場合も色々活用ができる。本庁で管理しているすべてのAEDに三角巾を配備していただきたい。



伊波 一男 議員



【環境】歩道・里道の雑草対策について

その他の主な質問

◎ 年収の壁百三万円の変更に伴う本市財政への影響について
◎ 学童・保育園の待機児童について
◎ Park・PFI事業について

◎ **議員** 本員の住む野高一区において、野高橋の下のほうなどは、歩道と呼べないくらい雑草が生え、車道を歩かないといけない状況もあったが、歩道や里道の雑草の草刈りは、どのような形で優先順位をつけて管理をしているのか伺う。
◎ **建設部長** 雑草対策につきましては、特に優先順位というものは設けてはなく、歩行者や通行に著しく支障がある場所において、優先的に対応している状況である。市内における雑草対策を行うべき箇所につきましては、相当数あるということで対応が追いついていない状況と認識している。
◎ **議員** 公共工事の請負契約の際に除草作業などを絡める事や、入札の際に加算することは可能なのか伺う。
◎ **総務部長** 建設業者の等級格付において、ボランティア活動を行った業者への加点を行っている。地域貢献を促進する観点からも、有効な手段の一つとして地域貢献の種類や評価基準等、他市の導入事例等、発注部署との協議調整を行ってまいりたい。



嶺井 拓磨 議員



【経済】女性デジタル教育・就労支援事業の導入について



岸本 一徳 議員



◎議員 女性デジタル教育・IT研修講座の令和七年度導入への検討結果を伺う。

◎市民経済部長 他市の事例や国の補助メニューの活用検討などの調査等を行った。令和七年度実施に向け地域女性活躍推進交付金を活用し、市内在住の女性を対象にデジタル人材育成講座を実施し、ITスキルの習得及び就労支援を行う事業を検討する。

◎議員 地域女性活躍推進交付金を活用し、どの程度の人数枠か、一講座あたりの実施期間等の概要などの説明を求める。

◎市民経済部長 事業委託する仕様書作成を検討し、文書作成、表計算等の基本的なITスキルを習得した方を対象に、デジタル分野で就労できる人材育成に努める。

◎議員 本市の女性デジタル就労支援事業は、高等職業訓練促進給付事業との併用が可能かどうか伺う。

◎福祉推進部長 内容が決まった段階で、実施要綱と照らし合わせ可能か判断する。

◎議員 高等職業訓練促進給付金事業との併用の御検討をお願い申し上げる。

その他の主な質問

- ◎がん対策の取組について
- ◎がん患者アピアランスサポート事業について
- ◎交通安全対策について

【建設】街区表示板の修繕及び活用について



松田 朝仁 議員



◎議員 街区表示板とは縦長の青い看板のことであるが設置目的と背景について伺う。

◎市民経済部長 本市では昭和五十九年十一月より新城地区より行っている。地域住民や来訪者へ分かりやすく正確な住所案内を行うことを目的としている。

◎議員 四十年ほど経つが、もらいさびや文字消え、鋭利な刃物の様に亀裂や剥離がある。歩行者には大変危険な状態であり改善していただきたい。また、商工会から要請のある市内業者発注であるのか、在庫や予算確保についても伺う。

◎市民経済部長 議員より写真も頂き、危険だと理解している。速やかに現場確認もを行い、取替えなど対応してまいりたい。予算は一枚約三千円の五枚分を確保している。発注業者は九州地区の県外業者である。

◎議員 建設部や商工会と県内の受託業者等の情報を共有し、企業の地域貢献やネーミングライツ等を参考にするなど、少ない予算で最大の効果が得られるよう努力していただきたい。

その他の主な質問

- ◎自治会活動応援に関する事業について
- ◎既存公園の公民連携について

【文化】野高第一公園や文化財などの環境整備について



屋良 千枝美 議員



◎議員 野高地域にある指定文化財や拝所の保護・活用の重要性について伺う。

◎教育部長 「ちなひちもうい」などの無形民俗文化財があり区民から愛され大切に保護・継承がなされている。一括交付金で歴史文化遺産マップを作成し、文化財整備の機運を高めるため講座も開催している。

◎議員 野高第一公園整備事業について、事業完了予定はいつか伺う。

◎建設部長 野高第一公園事業完了は、令和八年度の計画となっているが、補助金の減額の影響もあり完了予定は延びると考えている。早期整備完了に向け、用地取得や県への補助金満額要求を行ってまいりたい。

◎議員 野高第一公園予定地のウガンヌカタと石畳道を並行し整備工事が可能か伺う。

◎建設部長 ウガンヌカタの拝所がある野高第一公園は未買収の用地が残っており、野高ステイパナビラ石畳道の保存整備工事と同時期の整備は厳しい状況である。

◎議員 ウガンヌカタは地域に残された大切な拝所なので整備を急いでいただきたい。

その他の主な質問

- ◎乳幼児の「命と健康を守る」ための寄り添い支援体制について
- ◎公立幼稚園の認定こども園への移行について

一般質問

【地域】地域の未来を創るための自治会運営の課題と可能性について

その他の主な質問

- ◎地域防災力向上に向けたリーダーの活用と自主防災会の強化について
- ◎開通予定の市道喜友名二三号における安全確保に向けた対応について

◎議員 自治会加入が減少していく中で、地域をつなげていくのは地域防災であると考えます。また、今後のまちづくりは自治会が主体というよりも、それぞれが関心のあるテーマごとに集まれる形を作るのが重要で、行政にはつながり合える仕組みづくりの構築に取り組んでいただきたい。

◎市民経済部長 一つ目は、情報収集発信で自治会や市民団体の取組を市民に広く伝えることが必要とされている。一つ目は、中間支援機能組織の研究で市民団体が活動する際、必要な情報を二元的に提供し、多様な団体同士をつなぐ役割の中間組織の育成が求められている。三つ目のコミュニティ支援は、地域で活動する若者を増やすことや地域コミュニティと団体とのマッチングの促進、そして人と組織をつなぐコーディネートターの育成を必要としている。

◎議員 市民協働のまちづくり実施計画の評価報告書にある五年間の検証・評価に基づき、今後重点的に取り組むべき三つの課題について伺う。



棚原 明 議員



【まちづくり】既存公園の公民連携について

その他の主な質問

- ◎沖縄県民体育大会へ出場する宜野湾市代表選手への支援について
- ◎水道料金の改定について

◎議員 本市で管理している公園は全体で何か所あるのか伺う。

◎建設部長 市内において全体で四十一か所の公園がある。

◎議員 市民にとって、公園にはどのような役割があるのか伺う。

◎建設部長 公園は、幅広い年齢層が活動する空間や憩いの場を形成し、レクリエーション活動、健康の維持や増進に寄与するなど、多様な活動の場の役割を担っている。

◎議員 公民連携のPark+PFI事業は、事業者から公園活用の要望があれば、どの公園でも事業提案が可能なのか伺う。

◎建設部長 都市公園法に規定されている公募設置管理制度は、公園利用者等のニーズを把握した上で、民間事業者の調査を実施し、実現性の高い公募条件の設定ができれば、活用が可能であると考えます。

◎議員 本市も公園の公民連携事業に商工会と連携し、夢のある地域づくりに取り組んでいただきたい。

◎議員 本市で管理している公園は全体で何か所あるのか伺う。

◎建設部長 市内において全体で四十一か所の公園がある。

◎議員 市民にとって、公園にはどのような役割があるのか伺う。

◎建設部長 公園は、幅広い年齢層が活動する空間や憩いの場を形成し、レクリエーション活動、健康の維持や増進に寄与するなど、多様な活動の場の役割を担っている。

◎議員 公民連携のPark+PFI事業は、事業者から公園活用の要望があれば、どの公園でも事業提案が可能なのか伺う。

◎建設部長 都市公園法に規定されている公募設置管理制度は、公園利用者等のニーズを把握した上で、民間事業者の調査を実施し、実現性の高い公募条件の設定ができれば、活用が可能であると考えます。

◎議員 本市も公園の公民連携事業に商工会と連携し、夢のある地域づくりに取り組んでいただきたい。



知名 康司 議員



【教育】小中学校給食費無償化と給食費値上げについて

その他の主な質問

- ◎普天間飛行場の固定化を許さず即時運用停止と県民・市民が求める辺野古新基地建設断念について
- ◎水道料金値上げ等について

◎議員 学校給食の完全無償化に向けて、対応を伺う。

◎企画部長 県市長会等から県へ知事公約の全額県負担の実現を要請し、その対応を注視し具体的な方策を検討したい。

◎議員 予算編成時の対応を伺う。

◎指導部長 県は次年度の中学校給食費の予定額等の調査を実施し、令和七年一月に補助金交付要綱を策定すると伺っている。

◎議員 小学校が四千三百円から五千四百円、中学校が四千九百円から六千円になり、給食費が約二五%値上げする理由を伺う。

◎指導部長 コロナ禍やウクライナ情勢等で食品価格が高騰し、献立の維持が困難となったため、教育委員会が決定した。保護者説明会を二月に予定している。

◎議員 給食費値上げは保護者の理解を得るのは厳しいと考える。中学校まで助成するいい機会だと思いが、見解を伺う。

◎企画部長 県の対応を見定め、対応を検討してまいりたい。

◎議員 学校給食の完全無償化に向けて、対応を伺う。

◎企画部長 県市長会等から県へ知事公約の全額県負担の実現を要請し、その対応を注視し具体的な方策を検討したい。

◎議員 予算編成時の対応を伺う。

◎指導部長 県は次年度の中学校給食費の予定額等の調査を実施し、令和七年一月に補助金交付要綱を策定すると伺っている。

◎議員 小学校が四千三百円から五千四百円、中学校が四千九百円から六千円になり、給食費が約二五%値上げする理由を伺う。

◎指導部長 コロナ禍やウクライナ情勢等で食品価格が高騰し、献立の維持が困難となったため、教育委員会が決定した。保護者説明会を二月に予定している。

◎議員 給食費値上げは保護者の理解を得るのは厳しいと考える。中学校まで助成するいい機会だと思いが、見解を伺う。

◎企画部長 県の対応を見定め、対応を検討してまいりたい。



我如古 盛英 議員



【まちづくり】 大山地区土地区画整理事業について



石川 慶 議員



◎議員 令和六年度の取組状況を伺う。
 ◎建設部長 既存住宅エリアの地権者を対象に説明会の開催及び意向調査、並びに開発事業者及び宮農者へのヒアリング等を実施した。地権者の代表者を対象としたまちづくり勉強会を開催し、その後、庁内調整を経て二月に第二回まちづくり勉強会、三月には全地権者対象の説明会を開催し施行地区、施行主体を決定する考えである。
 ◎議員 地権者を対象とした全体説明会に佐喜眞市長が参加し、地権者への区画整理事業への理解と協力を求める取組をしていただきたいかがか。
 ◎市長 当該地域は多様な観光リゾート施設等が集積し、西海岸地域の公益ネットワーク計画が位置づけられ、西海岸道路や宜野湾横断道路が計画されているポテンシャルの高い地域であるため、早期事業化を図る必要があると認識している。三月の全体説明会へ可能な限り参加し、地権者の方々への説明並びに御了承を得られるよう努力してまいりたい。

その他の主な質問

- ◎公園整備について
- ◎横浜DeNAベイスターズ日本一に対する本市の取組について
- ◎モノレール延伸の推進について

【基地】 基地行政について



宮城 優 議員



◎議員 普天間基地の主な機能について伺う。
 ◎基地政策部長 主な機能として、ヘリ部隊による海兵隊陸上部隊の輸送機能、中空輸機の運用機能、緊急時における航空機を受け入れる基地機能がある。
 ◎議員 閉鎖、返還までの危険性除去について、中空輸機は、二〇一四年岩国基地へ移駐しており、緊急時の航空機受け入れも、本土の自衛隊への移転を予定している。以上のことを踏まえると、危険性除去の早期の取組として、輸送機能訓練等が行わなければ、早期の危険性除去になるのではなか、見解を伺う。
 ◎基地政策部長 輸送機能を継続するための訓練等が行わなければ、危険性除去や負担軽減につながると考えている。訓練移転は、重要な取組である。今後とも訓練移転の頻度を増やすなど、目に見える形で市民の負担軽減になるよう、日米両政府に対して求めていく。
 ◎議員 強く両政府へ求めていただきたい。

その他の主な質問

- ◎DV被害者等への支援について
- ◎年収百三万円の壁見直しによる市への影響について

【地域】 普天間基地から派生する騒音被害の対応方について



山城 康弘 議員



◎議員 令和六年十一月十五日、上大謝名自治会地域無線放送研究会より行われた要請の内容について伺う。
 ◎総務部長 要請行動内容については、騒音被害の大きい上大謝名地域においては多くの住宅が窓を閉め切って生活していることから、防災情報や市、自治会からのお知らせを放送する防災行政無線が十分に聞き取れない状況にあるため、戸別受信機の設置についての要請内容となっている。
 ◎議員 アンケート内容について見解を伺う。
 ◎基地政策部長 アンケート調査の結果から、上大謝名地域の皆様に対し騒音が生活に多大な影響を及ぼしていることを認識している。
 ◎議員 今後の対応策について伺う。
 ◎総務部長 防災行政無線が聞き取りにくい状況を解消するため、防災行政無線の音量を上げる対応や、内容を電話にて確認できるサービスの周知等、対応可能な部分を実施してまいりたい。

その他の主な質問

- ◎国民健康保険事業について
- ◎介護保険事業について

一般質問

【福祉】高齢者の移動手段の支援について



上里 広幸 議員



◎議員 移動手段に困り事のある高齢者や免許返納者への移動手段サービスの拡充が必要だと考えるが、支援に向けた取組について伺う。

◎建設部長 高齢者の方々の移動を支援していくことは、社会的課題の一つであることは承知している。今年度は新たな移動サービスの導入検討を目的とした調査事業に着手した。

◎議員 二〇二五年問題が翌年となり喫緊の課題である。スピード感をもって事業に取り組んでいただきたいかがか。

◎建設部長 今後の取組として、新たな交通サービス導入の方向性などについて協議を進める。また、公共交通サービスの実証運行を実施できるよう取り組んでまいりたい。

◎健康推進部長 免許返納者も含めて高齢者が外出しやすい環境を整備することは、健康寿命の延伸の観点からも重要と考えている。関係課と連携しながら高齢者の移動手段の充実発展に努めていきたい。

その他の主な質問

- ◎社会福祉協議会の移転後の跡地について
- ◎宜野湾市公共施設等総合管理計画について

【選挙】公職選挙法の遵守について



又吉 亮 議員



◎議員 県内でよく見られる公職選挙法違反は、どのようなものがあるか伺う。

◎選挙管理委員長 のぼりや横断幕等は、数量や設置場所により規制の対象となる。

◎議員 具体的にどのようなのぼりが違反か、法定ビラの頒布の違法を具体的に伺う。

◎選挙管理委員長 政治活動用のぼり旗の認められる要件として、弁士が二人以上で弁士の記載部分の面積が純然たる政党部分の面積を超えないことである。個人のぼりについては、政治活動のための演説会に類する会場において掲示することができるが、街頭演説では掲示することができず、住宅や道路等においても掲示することはできない。選挙用ビラについては、新聞折り込み、選挙事務所内、個人演説会の会場内、街頭演説の場所における頒布の方法に限られる。

◎議員 私ども議員は、行政行為に対して法令遵守されているか監視する立場である。その私たちが法令を遵守していなければおかしい。県内の選挙運動に対して一石を投じ、次のフェーズへと行くべきだと考える。

その他の主な質問

- ◎学校給食における二次調理食の提供について
- ◎企業版ふるさと納税について
- ◎持続可能な地域公共交通について

【観光】宜野湾マリーナで開催されるカジキ釣り大会の後援について



知念 秀明 議員



◎議員 宜野湾マリーナで開催されるカジキ釣り大会に協力しているか伺う。

◎市民経済部長 開催地代表として市長より御挨拶をさせていただいている。

◎議員 実施計画には、地域住民との交流を促進し相互理解を深めることや地域の未来の貢献を目指すところから、ぜひ大会運営の方々と意見交換会を行い、どのように本市を盛り上げていくか話し合いをしていただきたいが見解を伺う。

◎市民経済部長 意見交換の機会があれば、市として協力していけることは検討したい。

◎議員 この大会を本市がよい意味で利用すると子供達の将来のためにつながると思うため、もっとコミットしていただきたいが見解を伺う。

◎市民経済部長 次回大会に向け、大会側運営の方の話を聞き、また担当課と一緒に情報交換を行い、どういったことができるのか詰めてまいりたいと思う。

◎議員 よろしく願い申し上げる。

その他の主な質問

- ◎組踊「銘苅子」(はごろも伝説)公演について
- ◎市道の交通安全対策について
- ◎学童クラブの運営について

【防犯】 特殊詐欺から市民を守る広報活動について



伊佐 哲雄 議員



◎議員 近年被害が拡大している特殊詐欺について、市民が被害者となった事件、被害額などを伺う。

◎市民経済部長 本市の七十代女性宅に役所職員を名乗る男から、医療費の払戻しがあると電話があり、その後、金融機関職員を名乗る男が女性宅を訪れ、暗証番号を聞き出し、現金百万円が引き出された預貯金詐欺があった。県内での特殊詐欺の被害状況は、令和六年十月末時点で二百三件、約十三億二千六百万円であり、令和五年と比較して格段に増えている状況である。

◎議員 還付金詐欺などから市民を守る啓発活動などの取組状況を伺う。

◎市民経済部長 役所玄関前にて特殊詐欺被害の注意喚起のチラシ配布、悪質商法や還付金詐欺に関する注意喚起を行っている。

◎議員 若い人が闇バイトに応募しないための啓発活動を紹介していただきたい。

◎市民経済部長 闇バイトは犯罪であり、加担した場合でも警察に相談することで本人や家族を保護する周知文書を発出した。

その他の主な質問

- ◎市民参加型芸術文化活動の取組について
- ◎通学路の安全点検と横断歩道の安全対策について

【まちづくり】 統合される施設（保健相談センター、社協）の跡地について



平安座 武志 議員



◎議員 移設予定の保健相談センターの用地の活用方法について、真栄原区の学習等供用施設の移転を求めるが見解を伺う。真栄原公民館は建設から四十四年が経過し、老朽化も激しく耐震構造も満たしていない。さらに交流フロアが二階にあるがエレベーターがないため、地域住民からは早期の建て替えを望む声がある。また、当公民館の土地所有者からは、借地料等の交渉、市による土地の買い上げ等の要望もあり、早期の解決が求められている。まちづくり事業の住民説明会においても児童館の設置を求める意見などが出ており、市所有の土地であり嘉数小学校に隣接する保健相談センター跡地に、学習等供用施設と児童館を統合して建設していただきたいが見解を伺う。

◎企画部長 当該跡地については、先日実施した住民説明会での御意見やたぐいまる議員から頂いた御意見などを踏まえ、関係部署と調整を進めてまいりたい。

◎議員 一歩前に進んだと捉える。早期の事業化に向けて取り組んでいただきたい。

その他の主な質問

- ◎公営墓地整備計画及び事業進捗状況について
- ◎小中学校の給食費について

【建設】 市道喜友名 23 号の整備状況について



宮城 政司 議員



◎議員 琉大病院の開院に合わせ、年内に市道喜友名二十三号の整備を完了させるために市は様々な対応をしたと思うが、間に合わず遅延した理由を伺う。

◎建設部長 雨水ボックスカルバートの設置工事で、台風や降雨の影響を受けたこと、潮位の関係で海面が上昇することによる逆流が生じたことなどがある。

◎議員 市道の整備が遅れ、琉大病院の開院に間に合わないことは、市民や利用者の生命にも影響が出る可能性があり、遅れることは本当に許されなかった。建設部におけるスケジュールの管理技術が不足していないか不安がある。市長の見解を伺う。

◎市長 市道喜友名二十三号をできる限り早く供用開始できるよう、業者並びに全庁的に情報を共有しながら取り組みたい。今後、このような事がないよう、全庁挙げて危機意識、緊張感を持って取り組みたい。

◎議員 市民が待ち望んだ整備計画であるため、頑張っていたいただきたい。

その他の主な質問

- ◎ライオンの子保育園の給付費等の不正受給について
- ◎地域防災について

一般質問

【財政】 自主財源確保と今後の取組について



伊佐 文貴 議員



◎議員 たばこ税収を安定的に得るためには、企業とのコミュニケーションが重要だと考える。令和七年度、八年度には本市の財政状況は厳しくなると予想されている中で、企業を他市へ逃がさない取組も必要だと思いが、市長の考えを伺う。

◎企画部長 数年にわたり基準財政収入額に大きな影響はあるものの安定的な収入になった場合、令和四年度当時よりも約二億円の財源の増額が期待される。

◎市長 企業の皆様方の声をしっかりと聞き入れながら、ウインウインの形で取り組めるよう私自身も対応していきたい。これからも宜野湾市の発展、そして企業の皆様方が納税意識をしっかりと持てるように努力していきたい。

◎議員 本市には十七年間たばこ税を納めて貢献している会社もある。今後、事業拡大をもっと宜野湾市へ貢献したいと伺っているため、企業が働きやすい環境を作り、市外へ逃がさない、自主財源を確保する取組をしていただきたい。

その他の主な質問

- ◎津波警報に係る避難行動及び避難訓練について
- ◎本市の交通渋滞の現状と対策について

【こども】 ひとり親家庭における養育費について



座間味 万佳 議員



◎議員 ひとり親家庭において、養育費は大きな支えとなるが、どのような支援を行っているか伺う。

◎福祉推進部長 本市や県母子家庭等就業・自立支援センターの無料法律相談、また県で実施している公正証書等の作成に必要な経費や保証会社と養育費保証契約を締結する際に必要な経費の一部助成の案内も行ってはいる。

◎議員 他市ではどのような支援を行っているか伺う。

◎福祉推進部長 県と同様の事業は那覇市、浦添市、糸満市で実施している。

◎議員 県事業は県の窓口で申請しないとイケないが、三市は市町村の窓口で相談後すぐに申請できる。本市でも養育費の取決めにに対し支援を行うことは可能か伺う。

◎福祉推進部長 県や那覇市等の取組を参考に実施を検討してまいりたい。

◎議員 養育費は子どものためのもの。ひとり親家庭が安心して子育てできる宜野湾市となるようお願いしたい。

その他の主な質問

- ◎おむつ定期便について
- ◎児童扶養手当の毎月支給について
- ◎米軍基地から派生する女性への人権に対する問題について

【福祉】 社会福祉協議会の駐車場の整備について



宮城 克 議員



◎議員 社会福祉協議会の役割と利用実績について伺う。

◎福祉推進部長 社会福祉協議会は、社会福祉に関する活動の活性化、推進を図ることを目的として昭和四十七年に設立され、現在社会福祉センターは、同協議会、地域活動支援センター等が入居しているほか、ボランティア団体、民生委員児童委員連絡協議会等の地域福祉の担い手の方々の活動拠点として活用され、また児童発達支援事業所愛育園にも多くの児童が通っている。

◎議員 社会福祉協議会駐車場の現状は、路盤材の構成が雨風で流され、ほぼ石だけの状態であるため、歩行すると足が痛くなり、車で走行すると摩擦が無く滑る。そのような現状を把握しているか。

◎福祉推進部長 平成二十五年八月より社会福祉協議会へ駐車場として貸与するにあたり、市で砂利を敷いて対応したと聞いている。利用者が安全に利用できるよう、社会福祉協議会から市に整備の相談が寄せられた場合は、一緒に検討していきたい。

その他の主な質問

- ◎ミマモライドシステムについて
- ◎選挙による小中学校運動会の日程変更について
- ◎里道等の管理について

【福祉】乳幼児のベビーミルク支給について



プリティ宮城 ちえ 議員



◎議員 胎児から赤ちゃん、そして子供を大切にし、健康に育つよう、ベビーミルク支援の好事例として、本部町は現在、官民連携を行い、栄養不良者が1人もいないとのことである。そこが健康な人生を送ることができるとかどうかの分かれ目である。

現在、ベビーミルクを薄める状況が宜野湾市、沖縄県、全国でも出ており、内臓を悪くしてしまうこともある。健康な成長を市が保障できたなら、子供が健康で母親も笑顔で働ける自立の道へ歩める。兵庫県明石市においても、子育てに力を入れたため街が元気になっており、宜野湾市こどもの食を支える基金を使って、できるだけ早く乳児の命を守っていただきたいが、市長の御見解を伺う。

◎健康推進部長 令和七年度は経済的に困窮している世帯に対し、ミルクを含む食料提供を行うため予算を確保する予定である。

◎市長 子供たちの教育環境、生活環境を守る事が前提であり、可能な限り行政とすることができるは行っていきたい。

その他の主な質問

◎女性及び子どもたちを性暴力から守る対策について

◎いじめ・学生会議等の開催について

【福祉】保育行政について



上地 安之 議員



◎議員 保育士の確保、処遇改善並びに令和五年度の待機児童数及び潜在的待機児童数を伺う。

◎福祉推進部長 令和五年度の待機児童数は三十二名、令和六年度は三十五名、潜在的待機児童数を含めると百七十六名である。

◎議員 保育士就労促進事業における支援交付金の支出額を伺う。

◎福祉推進部長 令和五年度が十六名の活用で、百六十万円の支出、令和六年度は四十七名分を当初予算に計上している。

◎議員 潜在保育士の確保並びに潜在保育士の支援を伺いたい。

◎福祉推進部長 令和五年度は十六名の保育士就労で、潜在保育士は二名である。

◎議員 待機児童を解消するには保育士の確保は必須であり、沖縄県社会福祉協議会の制度の活用は保育士確保につながる。活用に取り組んでいただきたい。

◎福祉推進部長 潜在保育士の再就職の支援に潜在保育士名簿活用と併せて事業の周知に努めてまいりたい。

その他の主な質問

◎介護支援専門員のシャドウワークについて

◎多目的運動場の活用状況について

【健康】带状疱疹ワクチンの定期接種に向けての本市の対応について



下地 崇 議員



◎議員 国の予防接種法で令和七年度より带状疱疹ワクチンが任意接種から定期接種となることについて、当局の見解を伺う。

◎健康推進部長 厚生労働省より自治体向けの説明会が開催され、定期接種B類疾病に位置づけ、定期接種開始を令和七年度からとする旨の報告があった。国の予算の閣議決定後、自治体に通知がなされることから引き続き動向を注視してまいりたい。

◎議員 対象年齢について伺う。

◎健康推進部長 対象者を六十五歳の者とし、それを超える方については経過措置として五歳年齢ごとに位置づけるとしている。

◎議員 五十代の罹患もあるため、本市としては対象とならない世代に対しては、公費助成を行うべきだと考えるがいかがか。

◎健康推進部長 予算の確保など検討に時間を要するため、まずは国の示す定期接種に向け調整してまいりたい。

◎議員 定期接種により対象者のニーズも掌握できると考える。必要とする市民をしっかり掌握していただくようお願いしたい。

その他の主な質問

◎交通弱者の方々への支援について

◎本市の建設工事における働き方改革の取組について

12月定例会 令和6年度宜野湾市一般会計補正予算を全会一致で可決

第462回宜野湾市議会定例会は、12月5日から24日までの20日間の会期で開かれました。

今定例会は、令和6年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）を含む43件にわたる議案等が審議され、1名の議員による市道喜友名23号の供用開始の遅れの件に関する緊急質問も行われました。

主な議案

- 令和6年度宜野湾市一般会計補正予算（第8号）
- 宜野湾市水道事業給水条例の一部を改正する条例について

会期日程・議決結果等の詳細はこちら



議員研修を開催
「災害発生時に議会はどう動くか」

去る一月三十一日、本市にて災害プラットフォームおきなわ理事の稲垣暁氏を講師に「災害発生時に議会はどう動くか」について研修を行いました。講話後に、議事堂で災害を想定した避難行動訓練も行いました。

宜野湾市水道事業給水条例の一部を改正する条例について

十二月定例会 主な議案審議内容

可決

議案の主な内容は、今般の県企業局の水道料金改定に伴い、本市水道事業の健全な経営環境の確保・物価高騰等の諸般の情勢に伴う市民や事業者への負担軽減等を総合的に勘案し、本市水道料金を改定するため、条例の一部を改正する内容である。

委員会審査では、断水時に供給のある飲料水など、非常時に使用する水道料金も増加となるのか質疑がなされ、これに対し、災害時における応急給水などに使用する水については、基本的には市民から料金を徴収することはなく、収益のない無収水量として計上しているとの答弁がなされた。本会議の表決に当たっては、全会一致で可決された。

教育委員会委員の任命について

同意

議案の主な内容は、現教育委員の大川実氏が令和六年十二月二十四日付で任期満了するので、再び同氏を任命するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第四条第二項の規定により、議会の同意を得る必要があるとの内容である。



大川 実氏

本会議の表決に当たっては、全会一致で同意された。

総務常任委員会



日程：1月27日～29日
視察先：東京都豊島区、墨田区
視察項目：
・としまみどりの防災公園（イケ・サンパーク）について（豊島区）
・UDC すみだについて（墨田区）

委員会 所管事務調査

乳幼児の「命と健康を守る」為の寄り添い支援体制についてに関する陳情

採択

陳情の主な内容は、現状沖縄県においては、産婦への新生児訪問、助産師や保健師訪問の際にミルクをお届けする支援体制が無く、産褥期で体を休める時期に、困窮世帯の産婦がミルクの確保に心を煩わせる事態が頻発しているため、新生児訪問後にミルク等が必要な世帯へ早急に届けられるよう、相談支援とともに物的支援もできる行政支援の早期拡充を希望する内容である。

委員会審査では、宜野湾市こどもの食を支える基金条例の基金も支援に充てられるか質疑がなされ、これに対し、基金の活用も検討しているとの答弁がなされた。

本会議の表決にあたっては、本陳情の趣旨に賛同し、全会一致で採択された。

